

令和2年度 全国競技運営責任者会議 報告

1 期日 2021年2月13日(土) 13:20～

2 場所 リモート会議により実施

3 競技会実施報告 P2～P6

4 施設用器具委員会報告 P7～P18

(1)300mH 高さについて(競技規則に追加[国内]) P16

・U20→914mm U18→838mm 女子→762mm

(2)障害物の対応 P16

- ・U18男子対応の国際規格(838mm)が2020ルールに新たに定められた。
- ・国内競技会において実施はしていないが、現在販売されている障害物は国際規格。
- ・水濠改修時にあわせ対応していただきたい。(※現時点で義務付けはしていない。)

(3)代用縁石の置き方 P17

- ・一本おきに設置していたが、今後は隙間なく置くことになる。
- (保有数が不足している場合は今まで通りで良いが、早めに補充整備をお願いしたい。)

(4)粘土板の粘土の角度変更(45度から90度に変更)適用開始時期 P17

- ・WA : 2020年11月1日→2021年11月1日から
- ・国内 : 2021年4月1日→2022年4月1日から

(5)兼用サークル(ドーナツ板)表面仕上げの追加 P17・18

- ・国際大会では対応したものを使用しなければならない。
- ・国内では買い替え時に新規格品(滑らないドーナツ板)を購入する。
- ・買い替えまでの措置として、滑らないテープ(白以外)を貼ることで対応可能とする。

5 JTO 活動報告 P19～P21

6 公認競技会申請 P41～P47

7 記録の公認申請 P48～P56

- ・競技会終了後30日以内に申請することになっているが、なるべく早めの申請をお願いしたい。

8 JAAF が定めている記録用紙 P57～P62

9 広告規定の改定 P63～P101

- ・すべての衣類が共通規定となった。(P67～P68 参照)

10 2021年度S級公認審判員昇格審査結果 P102～P105

- ・コロナ感染拡大の影響により全国的に競技会の数が激減したため、競技会出席回数の基準を「直近過去6年間」とした。(従前は直近過去5年間)
- ・全国308名中303名が昇格候補。
- ・昇格候補にならなかった5名については、ほとんどの方が競技会、および審判講習会の出席回数が不足していた。
- ・手帳に添付する顔写真について、適切な写真の添付をお願いしたい。(スナップ写真のようなものを添付している方が見受けられた。)

11 ハンドブック改訂の概要 P106～P107

12 C級審判員制度の導入 P110～P118

- ・要約すると以下のとおり。
 - ①2021年度より導入
 - ②16歳になる年度より取得可能。
 - ③講習会の受講と実技研修を受け資格が付与される。
 - ④講習会等の実施については各加盟団体に一任。
(講習会用テキストについては陸連のホームページに掲載予定。(P119～P148 参照))
 - ⑤18歳になる年度になればB級取得が可能。
(C級を取得していなくても18歳に達する年度になればB級取得はできる。)
 - ⑥審判員手帳は新規発注分からC級の記載欄が新設。
 - ⑦審判員証はC級のみ色が異なる。(黄緑色)
 - ⑧C級審判員のみで競技役員を編成し審判業務にあたることはできない。
(B級以上の審判員のもとで業務にあたる。)

13 2021年度競技規則修改正案

- ・大きく変更になるところは殆ど無いが、押さえておくべき内容は以下のとおり。
 - ①競技規則の条文番号の表記変更 国際表記に合わせる。
CR : 競技会規則 (例)第125条→CR18
TR : 競技規則 (例)第170条→TR24
 - ②競技用シューズの規定(更に変更になる可能性もある)。
 - ③アスリートビブスの大きさ変更。

④踏切板の粘土角度・踏切時の無効試技の定義・踏切時のビデオ判定の適用時期延長。

【TR5. 2(第143条-2)～TR5. 5(第143条-5) 競技用靴】 P32～P35

・別添資料参照

【TR5. 10(第143条-10) アスリートビブス】 P36

〔国内〕

「ii. アスリートビブス(ビブス)の大きさは横24cm以内×縦16cm以内とし、……。」

〔注意〕

「……2021年4月から新規格のものを使用する。但し、……2023まで旧規格(横24cm以内×縦20cm以内)の使用を可とする。」

<旧規格使用の条件>

- ①中体連・高体連で3年間、同一番号のビブスを使用する場合。
- ②加盟団体に大量の旧規格ビブスの在庫がある場合。

【TR29. 3(第184条-3) 踏切板・粘土板角度・ビデオ判定】 P39

【TR30. 1(185条-1) 無効試技の定義】 P39

〔国際〕2021. 11. 1～適用

〔国内〕2022. 4. 1～適用

以上